

計画の全体イメージ（案）

＜清須市自殺対策計画（案）＞

- アンケート調査結果等をふまえて、清須市自殺対策計画の骨格を以下のように考えています。

（案）みんなで支えあい、見守りあうまち 清須

計画の体系案

1. 支えあい、見守りあう地域づくり

＜施策の方向＞

- 1 地域におけるネットワークの強化
- 2 ゲートキーパーの育成
- 3 市民意識の啓発
- 4 地域への参加の促進

2. 心身の健康づくりへの支援

＜施策の方向＞

- 1 心身の健康づくり
- 2 病気の早期発見・早期受診
- 3 自己肯定感を高める、こころの健康づくりへの支援
- 4 相談機会の充実

3. 子ども・高齢者・家族への支援

＜施策の方向＞

- 1 いじめの解消への支援
- 2 SOSの出し方に関する教育
- 3 子どもをとりまく家族への支援
- 4 高齢者への支援の充実
- 5 子どもの貧困対策の充実

4. 生活困窮者対策の充実と経済的自立への支援

＜施策の方向＞

- 1 生活困窮者対策の充実
- 2 無職者・失業者の自立支援
- 3 経営者への支援
- 4 若者への支援

アンケートにみられる現状

- 自殺対策は自分自身に関わる問題だと思う人が32.9%。
- これまでの人生で自殺したいと思ったことがある人は23.6%（約4人に1人）。
- 自殺したいと思った理由は「家庭問題（親子関係の不和、子育て、家族の介護・看護等）が最も多い（44.2%）。
- 自殺を思いとどまった要因は、「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」（33.3%）が多い。また、「特に何もしなかった」という人が25.0%見られた。
- この1年間に本気で自殺したいと考えたことがある人は10.9%（約10人に1人）。
- 必要だと思う自殺対策は、「学校でいのちとこころについての教育を行う」という意見が最も多い。

清須市の特徴

- 清須市の自殺者数は、H24～H28合計49人（男性30人、女性19人）。
- 地域の自殺の特徴として上位を占めているのは、「女性60歳以上無職同居」「男性60歳以上無職同居」「男性40～59歳有職同居」など。
- 「女性60歳以上無職同居」では身体疾患からうつ状態、「男性60歳以上無職同居」では失業（退職）から生活苦・身体疾患、「男性40歳～59歳有職同居」では配置転換から過労・職場の人間関係の悩み・仕事の失敗・うつ状態などの経緯で自殺に至っている。